

ネックから方眼編みの春夏用プルオーバー【編み方解説】

* - *



ネックから裾に向かって編むネックダウンのプルオーバーはとじはぎが必要なく、簡単に編めますが、構造が複雑なので、編んだことがない方だと編み図を見ただけで編むのは難しいかもしれません。

今回、編み図ご購入者さま限定で、ショップにて販売している方眼編みの春夏用プルオーバーの編み方解説をしていきたいと思っています。

ミニチュアを利用したの解説になりますので、袖などバランスが悪いかもしれませんが、構造や編み方は販売しているものと全く同じになりますので、お付き合いいただけると幸いです。

[P2 : ネックから編むプルオーバー](#)

[P3 : ヨークの編み方](#)

[P8 : 身頃の編み方](#)

[P11 : 袖の編み方](#)

■ ネックから編むプルオーバー



- ・ネックから編むプルオーバーは、首回りで作り目し、裾に向かって編んでいきます。
- ・編む順番は、ラグラン線で増し目をしながらヨーク→後身頃にだけ前後差→筒状に前後身頃→袖ぐりと襟ぐりという感じになります。

■ ヨークの編み方

① 指定目数で鎖編みを編んで作り目とし、最初の目に引き抜いて輪にします。



・ 輪にするのが難しい場合は、[こちらのページ](#)をご覧ください、1 段目を編んだあとに輪にさせていただいても大丈夫です。

・ 販売している春夏用プルオーバーでは、首回り 162 目ですので、162 目で作り目します。

② 後身頃分を編みます。



・ 編み図では 60 目になっております。両端 2 目は、長編み 2 目同じ場所に編んで鎖編み 1 目となっています。

ですので、まずは立ち上がり 3 目編んだら、立ち上がりと同じ場所に長編み 1 目、そして鎖編み 1 目編んだら作り目の鎖 1 目を飛ばして、長編み 56 目編みます。鎖編み 1 目編み、作り目の鎖 1 目を飛ばして、長編み 2 目を同じ場所に編みます。

③ 続けて袖を編みます。



・袖も身頃と同じ様に両端が長編み 2 目同じ場所に編んで鎖編み 1 目となっています。編み図では、袖分 21 目になっていますので、両端は後身頃と同じ様に、間の長編みは 17 目編みます。

・身頃と袖の間に鎖編み 1 目入っていますが、作り目は身頃と袖の間は目を飛ばさずに編みます。

④ 同じ様に前身頃・袖と続けて編んでいき、編み終わりは立ち上がり 3 目めに細編みを編みます。



・これで1段目が編めました。

ここからは身頃と袖の間に入れた鎖1目のスペース（赤い★）に「長編み2目+鎖編み1目+長編み2目」を編んでいきます。



⑤ ラグラン線で増し目しながら、指定段数になるまで編んでいきます。



⑥ ヨークが編めたら、次は後身頃にだけ前後差を編んでいきます。



- ・編み図では前後差が6段になっていますので、後身頃にだけ6段編みます。
- ・前後差を編むことで下の写真のように、自然に前襟ぐりが下がり、違和感なく着用できるようになります。



■ 身頃の編み方

① まずは後身頃に1段編みます。



② 続けて指定されている目数分、鎖編みを編みます。



・編み図では、鎖編み19目になっていますので、19目鎖編みを編みます。

③ 前身頃の端の目に長編みを編み、そのまま1段前身頃を編みます。



- ④ 前身頃を端まで編んだら、同じく鎖編みを 19 目編んで、後身頃の立ち上がりの 3 目めに引き抜き編みをします。



- ・これで前後身頃が筒状になりました。

- ⑤ あとは筒状に指定段数編んでいき、最後は縁編みを 2 段編んで糸を切ります。



- ・編み図では、脇に入れた鎖編みの中央の目を基準とし、その基準の目の両端の目で増し目しています。6段ごとに基準の目の両端に長編み2目編みいれていますが、加減はお好みで調節してください。
- ・模様編みの偶数段では、長編み2目と鎖編み1目を繰り返していますが、増し目の関係で、脇の2か所、長編み3目になったり、長編み1目になっている段があります。縁編みに入る前の段は、長編み2目と鎖編み1目の繰り返しになるようにしてください。

■ 袖の編み方

① 袖は、目立たない位置に糸をつけて編み始めます。



- ・糸を付ける位置は、特に決まっていますが、目立たない位置（脇部分）などがいいかと思います。
- ・編み図では、6 の倍数になるように目を拾っています。身頃と袖の境目など角になっているところは長編み 2 目一度にするなどして、調節しながら 6 の倍数の目数になるように編んでいきます。
- ・袖は左右ありますので、どちらの袖から編んでも大丈夫ですが、何目拾ったかメモしておいて、もう 1 本の袖も同じ目数で編むようにします。

② 模様編み 2 段編んだら、縁編みを 2 段編んで糸を切ります。



③ 襟ぐりも目立たない位置（後中央や後ろ身頃と袖の境目など）に糸をつけ、5目一模様でピコット編みを入れながら、編んでいきます。

袖ぐりと同様に、身頃と袖の境目は細編み2目一度編むなどして調節しながら編んでください。